

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		8		市町村名		麻績村	
事業目的		平成23年8月豪雨により、市の川支流の溪岸侵食が進み、村道まで土砂が流出した。下流には国道406号に接続する村道、上流には人家3戸・村道・上水道施設がある。次期豪雨時には、溪岸浸食の拡大と堆積した不安定土砂が流出する恐れがあることから、溪間工を施工し、溪床の固定を防止、土砂流出を防止する。また、上流域の森林において表土流出等の現象が見られる箇所に簡易治山施設を施工し、表土流出の防止、植生の定着を図る。		箇所名(ふりがな)		市野川(いちのかわ)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家3戸、村道(2路線)760m、上水道施設1箇所(給水戸数317戸)					
着手年度		平成27年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成30年度		費用対効果		11.9	
事業費(千円)		89,000		財源内訳(千円)		国庫 44,500 県債 40,050 一般財源 4,450	
全体事業内容(主な工種)		谷止工4個 森林整備0.48ha		年度事業内容(主な工種)		谷止工1個 森林整備0.02ha	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家3戸、村道760m、上水道施設1箇所の保全					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: 3戸 ○公共施設数: 2箇所(上水道施設1箇所、村道2路線) ○災害時要援護者関連施設の有無: なし ○保安林・林業用施設: 保安林率73%					評価 B
重要性		○過去の災害履歴: 平成23年8月豪雨により土砂流下 ○交通遮断による地域経済への影響: 中 ○地域防災計画上の位置付け: 位置づけあり					評価 A
効率性		○費用便益比(B/C): B/C=11.86 ○事業期間: 事業期間4年間(H27~H30を予定) ○工法等の比較検討: 谷止工新設、既設谷止工機能強化について比較検討 ○流域の総合調整: 砂防事業と調整中					評価 A
緊急性		○流域の地形、地質: 第三紀層中新世後期 ○平均溪床勾配(平均山腹勾配): 19° ○下流の堰堤等の整備状況: なし ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: Bランク					評価 A
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者(麻績村、地元地区)を中心に周知 ○地域の取り組み: 土砂災害防止に対する要望は高く協力的である ○地域の合意形成: 治山事業実施について合意形成が図られている ○住民との協働: 現時点では住民の関与は低い					評価 B
部意見		溪床内に不安定土砂が堆積しており、豪雨時に下流保全対象へ流出する恐れがあるため、対策工が必要である。		行政改革課意見		近年の豪雨等により溪流浸食、不安定土砂が進み、今後の降雨等による土砂流出の恐れがある。保全対象に国道406号に接続する村道もあることから、重要性、緊急性が認められる。	
				評価結果		○ A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

平面図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

写真① 谷止工(コンクリート)計画箇所

写真② 溪岸侵食及び不安定土砂堆積状況

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	市野川は過去から土砂災害が発生しており、計画地下流には砂防堰堤が設置された。上流域の保安林では、保安林機能の維持増進のため森林整備を実施したが、溪流には未だ不安定土砂が多く堆積しているため、谷止工を計画し、溪床の固定と溪岸浸食防止を図る。また、上流域の森林において、表土流出等の現象が見られる箇所に簡易治山施設を施工し、表土流出の防止、植生の定着を図る。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成25年に保全対象となる市野川区から麻績村を通して事業要望があり、麻績村役場職員、区長等と地元説明会を兼ねて現地踏査を実施した。
③事業説明等の経緯	平成25年5月31日、7月29日に地元説明会(現地踏査含)を開催した。今後、事業計画が確定次第、具体的な工事内容について地元説明会を開催する予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	砂防事業と調整中。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	新設する谷止工は、施設規模を適正なものとし、工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画する。森林整備は災害に強い森林づくり指針に基づくものとし、荒廃している森林においては、表土流出防止と植生の定着を図るため簡易治山施設を施工する。なお、簡易治山施設は、県産材を使用する。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯: N 36° 28' 53"
東経: E 138° 03' 26"